





### 常磐材木業界の偉才 秋山市造氏

#### 開業七週年新築落成 斯業制覇の準備全く成る

世に天才なるのみを以てし半生である。成功者たり得ず、成功者た氏は舊會津藩士として生れるには必ず不慮の熱と努力たるも若年にして既に時勢以上の収入を得ると共にして植田町に於ける功績と潜勢力は實に偉大なるものなり。今や昭和八年新春を迎へ植田町の一角に宏壯なる家屋五年快然として單身植田町の温情の溢れに從業員感泣を新築移轉し面目を一新すに至り目的道程の第一歩とせざるはなく、業務に寸暇を犠牲にして本懐なりとし

と共に營々克苦精勵今日ある基礎を造つたのである。而もこの努力家にしてこの人情味の豊かさを見よ……即ち現今世をあげて不況に喘へぎ、やれ工賃の値下だ勞銀の不拂だと悲惨なる聲を聞く折柄職工人夫に期待する事を感し飾らざる中に確乎たる信念と人情味の豊かさを感ずることか、氏は又隠れたる民政黨の闘將にして植田町に於ける功績と潜勢力は實に偉大なるものなり。此の主義たる名利に偏せず正義の爲に自己を犠牲にして本懐なりとし

と共々精勵は親切勉強第一常に影の人として現在に至るも氏の人格と今日までの功績とは期せいでして来るべし町會の人たらしむべく昭和八年年度に於ける氏の活躍こそ衆人刮目の焦點である

<b>尚美堂藥局</b> 平田町 電話二六八番	<b>關内藥局</b> 平四町目 電話四〇番	<b>堀藥局</b> 平二町目 電話三二六番	<b>大平藥局</b> 平一町目 電話六四二番	<b>山野邊藥局</b> 平五町目 山野邊東次郎
<b>高久病院</b> 平田町 電話五一二番	<b>渡邊整骨療院</b> 平鍛冶町	<b>木村病院</b> 平新川町 電話一六四番	<b>井坂婦人科醫院</b> 平田町 電話五五九番	<b>川井内科診療所</b> 平南町 電話一八一番
<b>増田醫院</b> 平南町 電話四八二番	<b>織田科醫院</b> 平南町 電話六一四番	<b>丹野科醫院</b> 平田町 電話三八五番	<b>齋藤洋服店</b> 平南町 電話呼五五二番	<b>富田洋服店</b> 宮川勝夫 平田町大通り
<b>大崎洋服店</b> 平田町 電話九六番	<b>佐川洋服店</b> 平三町目 電話四一八番	<b>高崎洋服店</b> 平町才植小路	<b>丸善洋服店</b> 大久保善八郎 平研町	<b>三井吳服店</b> 平三町目 電話三八四番
<b>金子屋</b> 平一町目 川岸通り	<b>藤市</b> 平警察通り 電話一六六番	<b>藤寅</b> 平一町目 電話一六六番	<b>大屋</b> 平二町目 電話十三番	<b>吉田恭平商店</b> 湯本町 電話五二番
<b>福壽軒</b> 平田町 電話二八番	<b>福榮亭</b> 平田町 電話三三五番	<b>福</b> 平田町	<b>つた本</b> 湯本町 電話一〇四番	<b>梅月</b> おでん 小料理 平驛前通り
<b>世</b> 平町聚樂館側 電話四六番	<b>夕ヒラ</b> 平驛前通り 電話六二〇番	<b>松ケ岡</b> 平町松ケ岡公園入口	<b>杵壽</b> 平町常磐銀行横町 電話六七九番	<b>泉屋旅館</b> 平三町目 電話二九五番
<b>三</b> 御料理 平南町川岸通り	<b>パラダイス</b> 各學校 御用 電話三二二番	<b>久保田</b> 製造所 平警察通り 電話三八三番	<b>久保田</b> 販賣所 常磐銀行横町	<b>大製靴部</b> 大塚風三郎 平田町 電話七七番
<b>越の家</b> 名天井 御料理 電話三三〇番	<b>とさわ亭</b> 御料理 平南町川岸通り	<b>三井商會</b> 平三町目 電話二九五番	<b>鈴木自動車部</b> 平二町目 電話二二七番	<b>好間軌道自動車部</b> 電話六八五番
<b>おでん</b> 平驛前新道通り	<b>金富士</b> 堂食 平四町目	<b>三井自動車部</b> 乗合 平好間 澤港行 電話六八五番	<b>好間軌道自動車部</b> 電話四三番	<b>好間軌道自動車部</b> 電話四三番

